

授業計画書(シラバス)

教科名	平面	曜日 時間	金曜日	担当者名	西 治子
-----	----	----------	-----	------	------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 26回 授業日)	4月	16 23	10月	8 15 22 29
	5月	7 21 28	11月	5 12 19 26
	6月	4 11 25	12月	3 10 17
	7月	2 9 16	1月	14 28
	9月	3	2月	4
方授業 法業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>1.鉛筆デッサンⅠ-3次元をつかむ(4/16~6/11 全7回)</p> <p>【モチーフ】 スニーカー1足とガラス製品1個 ・デッサンに入る前にA4コピー用紙を用いたエクササイズ ①鑑賞者と創るアート体験「100文字ストーリー」 ②極大と極小を造る</p> <p>2.色彩の研究-境界を越えて(6/25~9/3 全5回)</p> <p>①クラフト全紙1枚目に身の回りのあらゆる色彩をランダムに記録する(自分が選んで所有する小物、文具、道具や家具、車などの色彩・配色を着色して再現する。写真をプリントアウトしたものをカラージュしてもよい。) ②クラフト全紙2枚目に、自己の色彩傾向(好み)が表出された1枚目と相対する色彩を同様に展開していく。 ・用紙は、①②とも切り離す、折る、組み立てるなど自由に加工できる。</p>		<p>3.鉛筆デッサンⅡ-多視点とリアル(10/8~11/19 全7回)</p> <p>課題1のモチーフを多視点でとらえ、画面に構成、描写する。 遠近法による通常の視覚を超えて主観的な表現を試みる。</p> <p>4.選択課題(11/26~2/4 全7回)</p> <p>①窓と床-偶然の形、物の軌跡 ②「1年の物語」-テーマを立てる ※①②ともクラフト全紙を用いる。表現は平面、立体どちらでも良い</p>	
到達 目標	<p>1.①画像を作る側、鑑賞する側双方が100文字で画像のイメージを自由に連想し、物の見方、解釈の多様性を体験する。②では同じサイズの紙片から大小印象の異なる造 形が生まれることを楽しむ。デッサンⅠはモチーフの形、質感、量感を正確にとらえ、細密描写を通して物の本質に迫る洞察力を養う。</p> <p>2.自身の色彩傾向を明らかにし、今後のガラス制作に活用できるカラーチャートを作る。好む色以外の色彩・配色についても魅力を発見したい。</p>		<p>3.「キュビズム」、「未来派」、「表現主義」のムーブメントを例にあげ、物の見え方について一歩進んだ考察を試みる。モチーフの印象、機能性などを多面的にとらえ、平面または立体作品で伝えることを目指す。</p> <p>4.①窓、床の観察を通して眼前に現れる形を抽出する。物質としての窓、フレームの中の風景。床のキズやよごれ。観察を通して立ち上がる点・線・面をもとにイメージをふくらませる。 ②この1年の自分の心境をテーマに、自由に表現する。</p>	
成績 評価 基準	<p>1.エクササイズそのものは特に評価しないが、アートに新しい視点を積極的に求めているか、探求していく意欲が高いかを見たい。デッサンでは到達目標に挙げた点のほか、空間のとらえ方、描写力、完成度について評価する。</p> <p>2.数多くの資料を収集しドローイングやカラーージュを行っているか、クラフト紙の加工、チャートの見せ方を工夫しているか。期日までに完成させているか。</p>		<p>3.モチーフの観察、スケッチを数多く行う。通常の視覚から離れるための工夫をしているか。画面の中に驚きや新しい視点があるか</p> <p>4.対象について充分観察し考察されているか。純粋な形が抽出されているか。クラフト紙の特性を活かしているか。作品のテーマが第三者に伝わっているか。制作の密度が感じられるか。</p>	
留意 事項	<p>1.【研究所準備】 デッサン用木製パネル、希望者にイーゼル、四つ切 鉛筆デッサン用M画用紙 人数分、 A4コピー用紙 人数×6枚</p> <p>【生徒準備】 鉛筆デッサンのモチーフ、クロッキー帳(なるべく大きなサイズ) 鉛筆デッサン用具一式、マスキングテープ、セロテープ、カッターナイフ、のり、ハサミ、色鉛筆 (以上、年間を通じて使用するのでもいつも手元に置いておく)</p> <p>2.【研究所準備】 クラフト全紙(5枚入りロール)人数分、課題2と4で合計5枚用いる</p>		<p>3.【研究所準備】 四つ切 鉛筆デッサン用M画用紙 人数分</p>	